

建設業の未来を変える AI×DX実践研修

CO₂算定対応を強化し、業務効率と競争力を高める

建設業界に迫る3つの危機

1. 建設業就業者数 約30%減

1997年685万人 → 2024年477万人。担い手不足が慢性化し、若手の補充が追いつきません。

結果として受注機会の取り逃しや、熟練者への業務集中による品質・安全リスクが増大します。

出典：総務省「労働力調査」

2. CO₂算定制度(建築物LCA)

2028年度開始目標。設計～解体までのCO₂を説明できる体制が求められます。

算定フローやデータ整備が未準備だと、入札・審査・説明責任で不利になります。

出典：国土交通省「建築物LCA制度基本構想・検討会資料」

3. 大手でAI/DX導入が加速

生産性・スピードの差が拡大。提案・見積・資料作成の競争力で格差が顕在化しています。

中堅・地域企業も用途特化のAI活用が進み、待ったなしの状況です。

【実際の動向】いずれも日本経済新聞より

- ▶ 大成建設：AI人材1200人育成開始、週5時間の業務削減目標(2025/11/16)
- ▶ 中小向けAIツール：利用者2000人突破、見積作成を効率化(2025/11/14)



解決策：建設業特化AI研修(4つの特徴)

建設業の現場で使える内容

現場の情報伝達、工程管理、見積・内訳など日常業務を題材に学習。

社内の用語・書式に合わせた運用ポイントを解説し、翌日から使える“実務直結”のスキルを定着させます。

CO₂算定対応

Speciateの強み

建築物LCAの基礎、算定手順、必要データ整備を実務目線で解説。

J-CAT®・OneClickLCA・IDEA等の活用観点も紹介し、2028年制度に向けた社内体制づくりを支援します。

Eラーニング形式(全10時間・2ヶ月)

業務の合間に進められる短時間レッスンで、受講管理と質問対応を用意。修了証を発行し、現場の負担を抑えつつ確実に定着させます。

実践重視

議事録・資料作成・見積根拠整理などをハンズオンで演習。ChatGPT等の使い方だけでなく“使いどころ”を明確化し、自部署の課題に合わせたテンプレートを整えます。

注：LCA(ライフサイクルアセスメント)は、建築物の建設～解体までのCO₂排出量を評価する手法です。

研修概要

📅 期間：2ヶ月

🕒 総時間：全10時間

💻 形式：Eラーニング

🏆 修了証：発行あり

¥ 提供価格

標準価格：1名様 40万円

助成金活用後：実質負担目安 10万円～

※助成金活用後の金額は貴社従業員数により変動します。詳細はご相談ください。

導入効果(例)

資料作成時間を最大50%削減(定型資料の自動化)

議事録作成の半自動化で工数を半減

見積下準備の時間を1/2～1/3に短縮

CO₂算定作業の標準化で属人化を解消

助成金の活用

人材開発支援助成金(厚労省)等の対象として採択実績あり
申請手続きのご相談を承ります

詳しくは裏面へ →

研修カリキュラム(5モジュール)

1. 建設業界DXの動向と課題

国の方針や現場の変化をやさしく共有し、「まず何から手を付けるか」を整理。会議や帳票の見直しなど、無理のない一歩から始めます。

2. 生成AIの業務活用

AIへの「指示の出し方」を現場の言い回しで練習。議事録のたたき台や提案資料の素案づくりが速くなり、下準備の時間を減らします。

3. データベース化とAI活用

図面・見積・写真を探しやすく整理し、必要な情報をすぐ取り出せる仕組みを構築。過去案件の再利用で根拠確認や報告がスムーズに。

4. LCA算定業務のDX化

建物のCO₂排出量(LCA)を社内で計算・説明できる体制に。J-CAT®・OneClickLCA・IDEAと連携し、作業時間短縮と提出品質の安定化を図ります。

5. 工事写真管理のDX化

写真に工種・日付・場所などのタグを付けて自動整理。検査報告や提出資料の作成がスムーズになり、現場と内勤の連携が速くなります。

受講後のサポート

受講後1～2か月は質問対応や個別相談を実施。書式づくり・運用ルール・役割分担まで一緒に整え、現場定着まで伴走します。

お客様の声(LCA算定の効率化)

算定フローを標準化し、案件ごとの試算時間が約半分に。提出品質も安定しました。

— 建設業A社 環境推進室

J-CAT®や既存台帳と連携し、転記作業をほぼゼロ化。制度対応の準備が前倒しで進みました。

— 建設業B社 設計部

よくある質問(FAQ)

ITに詳しくなくても受講できますか？

A. はい。専門用語を避け、身近な業務で説明します。パソコンの基本操作ができれば大丈夫です。

社内展開(複数名・部門研修)は可能ですか？

A. 目的や業務に合わせて内容を調整。現場・設計・積算など部門別の演習にも対応します。

助成金は使えますか？

A. 条件により人材開発支援助成金等の対象となる場合があります。最新要件の確認と申請の相談が可能です。

受講に必要な環境は？

A. インターネットに接続できるPC(Web会議が可能な環境)をご用意ください。社内セキュリティに合わせた運用も相談できます。

日程変更やキャンセルはできますか？

A. 規定に基づき対応します。詳細は事前にご案内いたしますので、お気軽にご相談ください。

株式会社Speciate の事業内容

CO₂算定コンサル(J-CAT®/OneClickLCA/IDEA)

BIM活用支援(Dynamo等)

機械学習による自動入力ソフト開発

データ入力代行(表記ゆれ統一・一元化)

多目的最適化ツール開発